Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

かわさき健幸福寿プロジェクト

要介護度等改善・維持評価事業について

川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

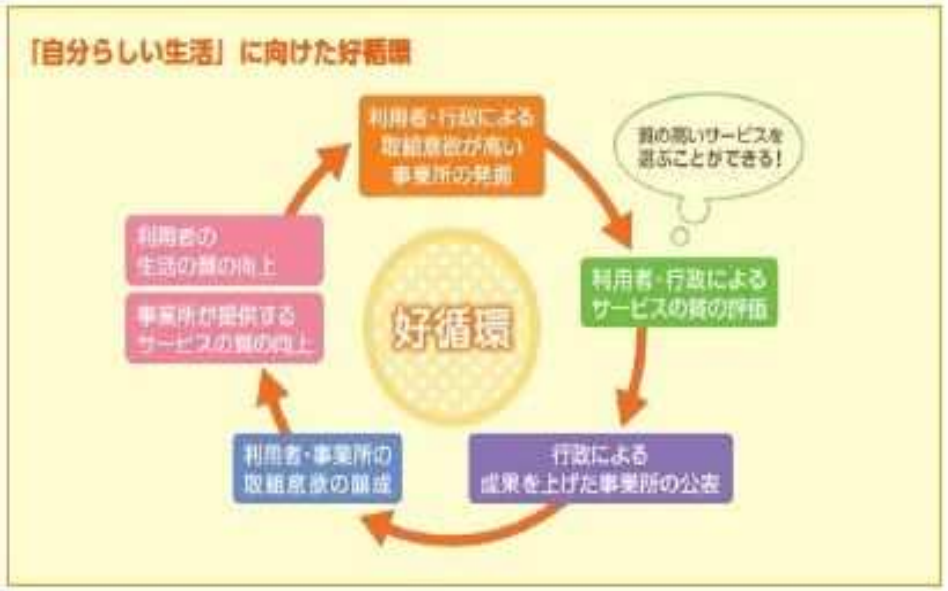
１　かわさき健幸福寿プロジェクトの御紹介

『かわさき健幸福寿プロジェクト』のご紹介

川崎市 KAWASAKI CITY

「したい」「やりたい」をあきらめない！かわさき健幸福寿プロジェクトとは？

高齢者の自立支援に向けた質の高いケアを評価する仕組みの構築を目指して平成２６年度から開始されたプロジェクトです。「こんな生活を送りたい」というような目標を持っていただき、介護サービス事業所と一緒に、その達成に向け、要介護状態の「改善」や「維持」を目指して取組んでください。



何を評価 するの？

「要介護度」「ＡＤＬ」等の改善・維持を評価対象とします。（評価指標）

参加したらどんな効果が あるの？

参加した皆様の**意欲向上**など、前向きなチャレンジを後押しすることができます。

また、事業所の努力や工夫をしっかりと評価することによって、事業所のモチベーション向上やスキルアップによる**サービスの質の向上**が期待できます。

参加による取組の成果に対しては、**インセンティブ**という形で、参加者、事業所それぞれにお渡しし、更なる取組意欲の向上にお役立ていただいています。

『かわさき健幸福寿プロジェクト』の特徴

川崎市 KAWASAKI CITY

『チームケア』による介護サービスの成果を評価！

居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）を中心とした、他職種の連携による相乗効果により、質の高いサービスの提供を行い、その成果について評価を行います。

居宅介護支援
（ケアマネ）

ショートステイ

通所リハ

要介護度の
改善・維持
↓
評価（インセンティブ）

デイサービス

特別養護老人ホームやグループホームにおいても同様に、配置される様々な職種の職員間連携によるチームケアを評価しています。

第８期事業スケジュール

川崎市 KAWASAKI CITY

かわさき健幸福寿プロジェクト	令和５年			令和６年		
	4月～6月	7月～9月	１０月～１２月	１月～３月	4月～6月	7月～9月
事業期間		→	→	→	→	
参加受付	→	→	→			
結果調査（アンケート）	８期参加説明会			事例発表＆講演会	表彰式	→
結果集計・評価		事例検討＆講演会	事業所訪問			→
事例発表会説明会等	★ ★	★		★		★

表彰式について

第８期プロジェクト終了後、8月～9月頃に皆様の取組を発表し、その成果を讃えるため、川崎市長による表彰式を８月に開催する予定です。

事例発表会・説明会等

プロジェクト参加事業所の皆様に有意義な講演会、研修会等の企画を行う予定です。
（実施の可否については、新型コロナウイルス感染症の感染状況により適時判断する。）

評価方法・インセンティブ付与

川崎市 KAWASAKI CITY

①成果指標

◆ 要介護度

令和５年７月１日時点と比べて、期間終了時点で**改善**した場合

その他、改善に至らなかった場合であって、同一の要介護度を**一定期間を超えて維持**した場合

◆ ＡＤＬ等（変化を測るため、認定調査票における能力評価の調査１８項目を指標として用いる）

令和５年７月１日時点と比べて、期間終了時点で**改善**した場合

（ＡＤＬ改善の評価は、直近の要介護認定時に、本市の認定調査を受けている方に限ります。）

②インセンティブ付与（予定）

- ◆ 報奨金　５万円程度　（「要介護度の改善」又は「ＡＤＬ等の一定以上の改善」があった場合）
- ◆ 市が主催するイベントにおける市長表彰
- ◆ 成果を上げたことを示す認証シールの交付（事業所向け）
- ◆ キーホルダーや参加の証（あかし）カードの交付（御利用者向け）
- ◆ 市の公式ウェブサイト等への掲載
- ◆ 事例検討会等における公表や事例集への掲載

ＡＤＬ等の変化を測るための指標

川崎市 KAWASAKI CITY

調査項目	選択肢
寝返り	1. つかまらないでできる　2. 何かにつかまればできる　3. できない
起き上がり	1. つかまらないでできる　2. 何かにつかまればできる　3. できない
座位保持	1. できる　2. 自分の手で支えればできる　3. 支えてもらえればできる　4. できない
両足での立位保持	1. 支えなしでできる　2. 何か支えがあればできる　3. できない
歩行	1. つかまらないでできる　2. 何かにつかまればできる　3. できない
立ち上がり	1. つかまらないでできる　2. 何かにつかまればできる　3. できない
片足での立位	1. 支えなしでできる　2. 何か支えがあればできる　3. できない
視力	1. 普通（日常生活に支障がない）　2. 約1m離れた視力確認表の図が見える 3. 目の前に置いた視力確認表の図が見える　4. ほとんど見えない　5見えているのか判断不能
聴力	1. 普通　2. 普通の声がやっと聞き取れる　3. かなり大きな声なら何とか聞き取れる　4. ほとんど聞こえない 5. 聞こえているのか判断不能
えん下	1. できる　2. 見守り等　3. できない
意思の伝達	1. 調査対象者が意思を他者に伝達できる　2. ときどき伝達できる　3. ほとんど伝達できない　4. できない
毎日の日課を理解	1. できる　2. できない
生年月日や年齢を言う	1. できる　2. できない
短期記憶	1. できる　2. できない
自分の名前を言う	1. できる　2. できない
今の季節を理解する	1. できる　2. できない
場所の理解	1. できる　2. できない
日常の意思決定	1. できる（特別な場合でもできる）　2. 特別な場合を除いてできる　3. 日常的に困難　4. できない

18の調査項目の選択肢の番号について、取組開始時の合計から終了時の合計を差し引き、差がプラスであれば改善、ゼロであれば維持、マイナスであれば悪化とし、改善した場合にインセンティブを付与。なお、差が5以上の場合は、報奨金の付与を予定。

参加資格

川崎市 KAWASAKI CITY

①対象者の要件

- ◆ プロジェクトの趣旨を踏まえ、要介護度等の改善に向けた意欲のある方
- ◆ 令和５年７月１日時点で要介護１～５の認定を受けている方
- ◆ 川崎市の介護保険証をお持ちの方（川崎市の被保険者）
- ◆ その他、次のいずれにも該当しない方

× 直近の要介護認定時と比較して、プロジェクト参加申請時点の心身状況に著しい改善が見られる方
× 給付制限等の対象となっている方

②参加資格（事業所）

市内に所在する全ての介護保険指定事業所が対象となります。複数の介護サービス事業所がケアに関わっている場合、**居宅介護支援事業所が代表（申請者）**となってチームとしての参加申請をしていただきます。 なお、以下の事業所は単独での申し込みが可能です。

単独申込が可能な事業所

- ◆ 介護老人福祉施設（地域密着型を含む。）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設
- ◆ 特定施設入居者生活介護事業所、認知症高齢者グループホーム
- ◆ （看護）小規模多機能型居宅介護事業所（他サービスの給付管理も行う場合は、居宅介護支援事業所と同様の手続きを取ってください。）

２　表彰式イベント、ＰＲ活動
及びインセンティブについて
（令和４年度実施内容）

プロジェクト推進のための取組①

川崎市
KAWASAKI CITY

かわさき健幸福寿プロジェクト表彰式

第５期オンライン表彰（令和４年１月２３日まで配信中）

第６期表彰式（令和４年８月１０日）

●第６期プロジェクトでは、対面にて、要介護度を改善される等顕著な成果を挙げられた御利用者様と御家族、事業所職員を表彰しました。
●表彰に併せ、ゲストとして「風間トオル」さんが記念トークを行いました。

プロジェクト推進のための取組②

川崎市 KAWASAKI CITY

第６期事例集の作成

- 令和５年３月発行（参加事業所、地域包括支援センター及び区役所等へ配布）

- 第６期に参加された方の中から３つのチームに焦点を当て、それぞれの努力や工夫を紹介
- 第７期に参加されている事業所からも２事業所の動機や取組みについて紹介しています

プロジェクト推進のための取組③

参加事業所の広報について

川崎市では、参加いただいた事業所の「頑張り」が伝わるよう、市民の方へ、「積極的に広報」を実施しております。
参加いただいた全ての事業所を各期ごとにお伝えしております！

HPでの周知

発行物に掲載

表彰式にて一覧を展示

＊成果が著しかった事業所には代表として表彰

アゼリア通路にて展示

認証シールの御紹介

川崎市
KAWASAKI CITY

ご存知ですか？このシール！

銀色の認証シール
参加取組の上、成果を上げたことを認証

金色の認証シール
参加取組の上、顕著な成果を上げたことを認証

銅色の認証シール
参加取組を認証

「要介護度を改善又は維持した、日常生活動作（ADL）を改善した」
その成果を評価する事業「かわさき健幸福寿プロジェクト」に
積極的に参加された介護サービス事業所に対して、
川崎市がインセンティブの一つとして進呈している「認証シール」です！

利用者インセンティブの御紹介

川崎市
KAWASAKI CITY

利用者インセンティブの御紹介！！

介護保険証と同じB7サイズの
「参加の証」カード

裏面は
こんな感じ！

反射素材を用いた
「健幸福寿」キーホルダー